

Name : Margaret Thatcher

Birth Date : Tue Oct 13,1925 09:00:00

Timezone,DST Timezone : 00:00:00 DST: 00:00:00

Place of Birth : Grantham UNITED KINGDOM (general England)

Longitude : 00W38'00 Latitude : 52N54'00

	Nakshatra As Vishakha Su Chitra Mo Magha Ma Hasta Me Chitra Ju P.Shad. Ve Anuradha Sa Vishakha Ra Pushya Ke U.Shad.	p# Ird/sb 1 Ju/Sa 2 Ma/Ju 2 Ke/Ra 2 Mo/Sa 3 Ma/Me 3 Ve/Ju 2 Sa/Ve 1 Ju/Ju 2 Sa/Ve 4 Su/Ve	Ra 08:42
Ke 08:42			Mo 05:48
Ju 21:40	Ve 09:15	Me 00:57 Sa 20:57 As 22:28	Ma 16:38 Su 26:41

Navamsha

Ke	Sa As	Mo Ma	
		Me Ju	Su Ra Ve

AK	AmK	BK	MK	PK	GK	DK
Su	Ju	Sa	Ma	Ve	Mo	Me

Sign Distance		SB	
As Lib	18:28	As	
Su Vir	02:41	Su	0.96
Mo Leo	18:11	Mo	1.03
Ma Vir	11:21	Ma	1.19
Me Lib	19:02	Me	1.41
Ju Sag	04:40	Ju	0.81
Ve Sco	03:15	Ve	1.32
Sa Lib	17:57	Sa	1.25
Ra Can	02:17	Ra	
Ke Cap	03:17	Ke	

Vimshottari

- Ke-Ra 08-24-1925
- Ke-Ju 09-12-1926
- Ke-Sa 08-18-1927
- Ke-Me 09-26-1928
- Ve-Ve 09-23-1929
- Ve-Su 01-23-1933
- Ve-Mo 01-23-1934
- Ve-Ma 09-24-1935
- Ve-Ra 11-23-1936
- Ve-Ju 11-24-1939
- Ve-Sa 07-25-1942
- Ve-Me 09-23-1945
- Ve-Ke 07-24-1948
- Su-Su 09-23-1949
- Su-Mo 01-11-1950
- Su-Ma 07-12-1950
- Su-Ra 11-17-1950
- Su-Ju 10-12-1951
- Su-Sa 07-30-1952
- Su-Me 07-12-1953
- Su-Ke 05-19-1954
- Su-Ve 09-23-1954
- Mo-Mo 09-24-1955
- Mo-Ma 07-24-1956
- Mo-Ra 02-22-1957
- Mo-Ju 08-24-1958
- Mo-Sa 12-24-1959
- Mo-Me 07-24-1961
- Mo-Ke 12-24-1962
- Mo-Ve 07-25-1963
- Mo-Su 03-25-1965
- Ma-Ma 09-23-1965
- Ma-Ra 02-19-1966
- Ma-Ju 03-10-1967
- Ma-Sa 02-14-1968
- Ma-Me 03-24-1969
- Ma-Ke 03-22-1970
- Ma-Ve 08-18-1970
- Ma-Su 10-18-1971
- Ma-Mo 02-23-1972
- Ra-Ra 09-23-1972
- Ra-Ju 06-06-1975
- Ra-Sa 10-30-1977
- Ra-Me 09-04-1980
- Ra-Ke 03-25-1983
- Ra-Ve 04-11-1984
- Ra-Su 04-12-1987
- Ra-Mo 03-06-1988
- Ra-Ma 09-05-1989
- Ju-Ju 09-23-1990

Dreshkana

		Su	Sa As
			Ra
Ma Ke			Ju Mo
	Ve	Me	

Chaturthamsha

Ma	Ke Sa As		Su Ju
Ve			
			Mo
		Me Ra	

Saptamsha

Ra As		Ju	Ma
			Ve
Sa			
		Me	Ke Su Mo

Dashamsha

	Sa	As Ra	
			Ju
Su			
	Ke	Ve Me Ma	Mo

Dwadashamsha

Ma	Ke		Sa As
Ve			Su
			Ju
		Mo Me Ra	

Shodashamsha

Sa As	Me		
Su			
			Ra Ke Ma
Ve	Mo Ju		

Samudaya Ashtakavarga

31	23	24	34
24			38
25			31
28	20	34	25

Binnashtaka Varga for Sun

4	5	6	5
1			5
3			4
4	1	6	4

Binnashtaka Varga for Moon

5	2	4	4
6			6
4			5
4	3	4	2

Binnashtaka Varga for Mars

3	3	2	5
2			4
3			3
3	2	6	3

Binnashtaka Varga for Mercury

5	2	6	5
3			7
5			4
3	5	5	4

Binnashtaka Varga for Jupiter

7	5	1	6
5			6
3			3
6	3	5	6

Binnashtaka Varga for Venus

3	3	3	5
5			6
4			8
5	4	3	3

Binnashtaka Varga for Saturn

4	3	2	4
2			4
3			4
3	2	5	3

Vimshamsha

Mo	Me	Sa	Ve As
			Ma
Su			
		Ju	Ra Ke

マーガレット・サッチャー (Thatcher, Margaret)
イギリスの政治家。保守党初の女性党首。

イングランドの田舎町グランサムで父アルフレッド、母ベアトリスの間に生まれました。父はグランサム市長で、彼女は父から2つのことを生活信条として守り、実行するよう教えられたといひます。

ひとつは「何事も自分の意志で決めよ」もうひとつは「皆の後についていくような行動をとるな」ということで、彼女は父について「私の考えは小さな町で確固とした信念を持って生きた父親から学んだものです」と述べています。

彼女はその後、オックスフォード大学に進み、学生生活の中で政治に出会い、大学在学中から保守党連盟の指導者をつとめました。そして卒業後は、化学研究員として働いた後法律と税制を学び、1949年から1951年にわたりと3度にわたって国政選挙に挑戦しましたが落選。しかし、この経験を生かして1959年、彼女は国会議員に当選したのです。

その後、年金・国民保険省政務次官、教育・科学相をつとめ、1975年対立候補の E. ヒースを破って党首に就任し、その後の総選挙で保守党が労働党に勝ち、首相に就任したのでした。

この時から“サッチャリズム”と呼ばれる、イギリス大改革が始まります。敬虔なキリスト教徒である彼女は、この時期、次のように神に祈りをささげたとされています。

「誤りがあるところには、真理をもたらすことができますように。疑いがあるところには、信頼をもたらすことができますように。そして絶望があるところには、希望をもたらすことができますように」

その後1987年の総選挙では376議席を獲得して大勝し、イギリス近代政治史上初めて首相3選を果しました。しかし、1989年以降の景気後退に直面して破綻を招き、党内からの強権支配に対する批判に抗しきれず、1990年1月に辞任しました。

サッチャーは党首選でエドワード・ヒースを破って保守党初の女性党首となるのだが。そのときから首相に就任するまでの4年間のことを「私にとって野に下っていたあの4年間は何事にもかえがたい時間だった」と述べている。彼女は4年の間、自分が将来政権を動かしている姿を想定し、常にそのための準備を重ねており。彼女の鉄のような信念は、この時期に作られたといわれています。そして1979年5月、保守党が労働党を破り、彼女はイギリス史上初の女性首相となった。この時から“サッチャリズム”と呼ばれる、イギリス大改革が始まったのである。

「イギリスの世界における威信にとっても、そして国内の状況を考えても、最も重要な時期だった」と、後にサッチャーがフォークランド紛争を振り返って語っているように、この紛争で世界に力を誇示したことで、イギリスの存在を世界に再認識させることとなったのである。このフォークランド紛争での勝利を機に、彼女は「鉄の女」の称号を得た。彼女の強硬な姿勢は、湾岸戦争においても高く評価されている。この戦争は彼女の辞任直前に起きたものであり、国際舞台での彼女の最後の活躍の場であった。

現在はマーガレット・サッチャー元首相とトニー・ブレア首相が険悪な関係になっているそうである。ブレアが「英国の政治をマーガレット・サッチャーの時代から次に進める時です」と言えば、サッチャーも「政治的虚栄心で目がくらんでしまって、困ったことね」と負けてはいない。

マーガレット・サッチャー, Margaret Thatcher
在任; 1979-1990 保守党
生年月日 1925年10月13日

"経済政策は手段で、目的は人々の精神を変えることなのです"

マーガレット・サッチャーは過去150年間でもっとも長期に渡って首相を務めた人であり、英国首相としては初の女性であった。彼女の父は雑貨商であったと同時にグランサム市長を経験しており、サッチャーにたいする影響力がもっとも大きかった人である。サッチャーはオックスフォードにある公立学校で教育を受け、化学を専攻していた。オックスフォード大学ではオックスフォード・ユニオンの会長を務めた。

1951年12月13日、デニス・サッチャー氏と結婚。1953年8月双子の未熟児マークとキャロルを帝王切開で出産する。

1959年にフィンチリー選挙区で保守党議員として当選する前に弁護士資格を得ている。彼女はいくつかの政務次官を経験した後、影の教育省の広報担当となり、1970年には教育大臣として入閣を果たした。保守党野党転落時代の1975年にエドワード・ヒースに対抗して保守党党首選に臨み、勝利した。このときの衝撃は極めて大きかった。1979年には保守党が総選挙に勝利し、サッチャーはジャイムズ・キャラハンを継いで首相となった。

当初の二年間は容易なものではなかった。景気は徐々に回復基調にあったとはいえ、失業率は高かった。彼女は自派の閣内への取り込みに奮闘し、フォークランド紛争で英国を勝利に導き、名声を得た。この勢いに乗って1983年に総選挙に踏み切り、大勝利を収めた。サッチャー政権は私有化と自由化のための急進的な政策を推し進め、労働組合改革、減税、保健や教育の分野に市場原理を適用した。その目的は政府の介入を減少させ、個人の領域を増やすことにあった。

サッチャーは同時に国際的にも重要な存在となり、レーガン米大統領やゴルバチョフソ連書記長とも交流を深めた。サッチャー政権時代を通してもっとも困難であったことは欧州問題であった。

古くから外務大臣を務めたサー・ジェフリー・ハウは、サッチャーの対欧州政策に反対して1990年11月に辞任した。ハウの辞任演説はサッチャー政権を倒閣するほどの威力を持ち、同じ月の後半には政権崩壊となっている。マイケル・ヘーゼルタインがサッチャーに党首選を挑んだが、僅差でサッチャーに叶わず、しかし、両者共に第一回投票で勝利することが出来ず、第二回投票実施となった。第二回投票では周囲から続投を諦めるように説得され、代わりにサッチャー派のジョン・メイジャーが出馬して勝利した。1992年には庶民院を離れ、サッチャー女男爵として貴族院に籍を置くこととなった。